

◎特集2

みなさんが安心して利用できる病院をめざして

岡谷市病院事業は4月から新しい体制でスタートします

どう変わる? おかやの市民病院の姿



市内に2つの市立病院を運営する岡谷市では、厳しい医療環境のなかで、地域医療を守るために、2つの病院の統合を進めています。

また、公立病院の改革の必要性から、国の求めに応じて策定した、岡谷市病院改革プランにおいて、統合の最終目標となる新病院建設に先行し、両病院の施設集約をしなければ、公立病院としてみなさんに医療提供を続けていくことが困難だと判断し、統合の途中段階に両病院の施設集約を掲げ、その実現をめざして検討を重ねてきました。

4月以降もみなさんが安心して受診や入院できる環境を整えることを最優先に考え、適切な医療サービスが提供できるように、施設集約の全体像をまとめました。新たな体制でスタートする岡谷市病院事業の集約後の姿はどう変わるのでしょうか。診療科や機能、施設の配置などの概要をお知らせします。

集約後の機能について

健康保険岡谷塩嶺病院

●機能

入院
外来
手術
救急(輪番制)
健康診断
人工透析
リハビリ

●病棟構成・病床数

一般病床	199床
うち緩和ケア病床	10床
うちICU・CCU	8床

現在

市立岡谷病院

●機能

入院
外来
手術
救急(輪番制)
健康診断
人工透析
リハビリ

●病棟構成・病床数

一般病床	244床
感染症病床	4床
療養病床	44床
合計	292床

現在

●病床数(外来診療はありません)

療養病床	43床
緩和ケア病床	10床
合計	53床

集約後

●診療科

内科	疼痛緩和内科
療養病床での診療	緩和ケア病床での診療

●機能

入院
外来
手術
救急(輪番制)
健康診断
人工透析
リハビリ

●病棟構成・病床数(予定)

一般病床	260床
感染症病床	4床
合計	264床

集約後

●診療科 ※現在の診療科目をもとにした予定です。

内科	リウマチ科	眼科
心療内科	小児科	耳鼻いんこう科
精神科	外科	放射線科
神経内科	小児外科	リハビリテーション科
呼吸器内科	整形外科	病理診断科
消化器内科	脳神経外科	麻酔科
循環器内科	消化器外科	腎臓内科【追加】
糖尿病内科	乳腺・内分泌外科	感染症内科【追加】
内分泌・代謝内科	肝臓・胆のう・膵臓外科	呼吸器外科【追加】
肝臓内科	皮膚科	胸部外科【追加】
人工透析内科	泌尿器科	
アレルギー科	産婦人科	

【病床数】

現在の病床数は岡谷病院が292床、塩嶺病院が199床、合計491床ですが、施設集約により、合計317床の病院となる予定です。

【病棟構成】

岡谷病院からは「療養病床」を塩嶺病院に移設し、新たに「ICU・CCU 4床」を加えて、岡谷病院の病床数を「264床」に変更します。

また、塩嶺病院からは岡谷病院へ「一般病床」と「ICU・CCU」を

【診療科】

現在の診療科目は、岡谷病院が「内科、循環器内科、糖尿病内科」など30科目、塩嶺病院が「心臓血管外科、内科、呼吸器内科」など17科目となっています。施設集約により岡谷病院で新たに増える診療科目は「腎臓内科、感染症内科、呼吸器外科、胸部外科」の4科目で、集約後は34科目となる予定です。

一方、塩嶺病院は療養病床、緩和ケア病床という特定の病床構成になりますので、「内科、疼痛緩和内科」の2科目となります。

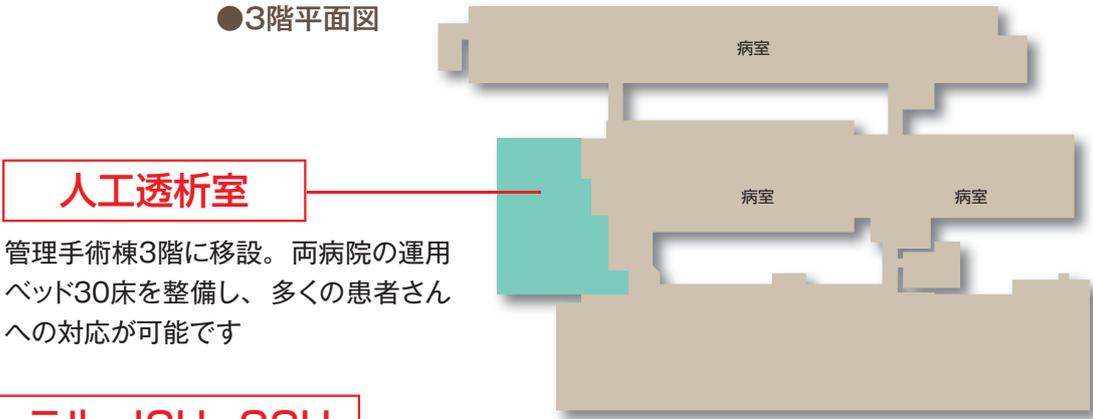


施設集約に伴う診療機能の変更

現在の施設を改修し、集約新病院の機能を充実させます

市立岡谷病院

●3階平面図

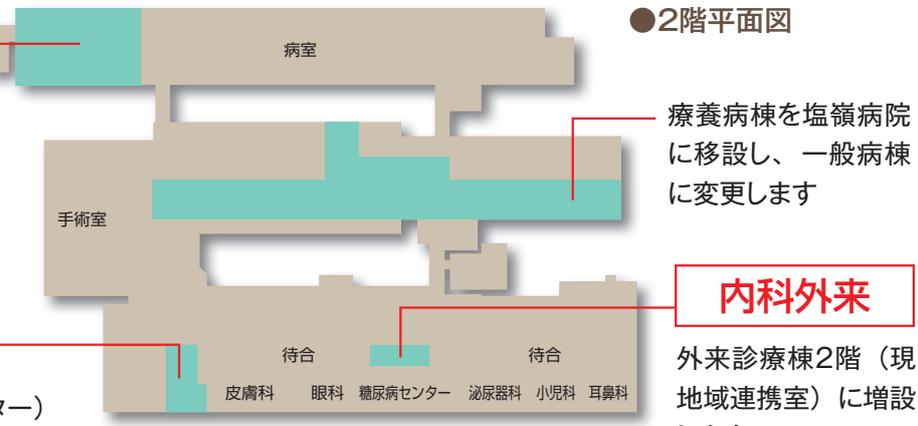


人工透析室
管理手術棟3階に移設。両病院の運用ベッド30床を整備し、多くの患者さんへの対応が可能です

●心臓カテーテル・ICU・CCU

北病棟2階（現食堂）に設置。循環器内科の充実を図ります。手術室、心臓カテーテル室、ICU・CCU、病室までが同一階となる、機能的な配置です

●2階平面図



療養病棟を塩嶺病院に移設し、一般病棟に変更します

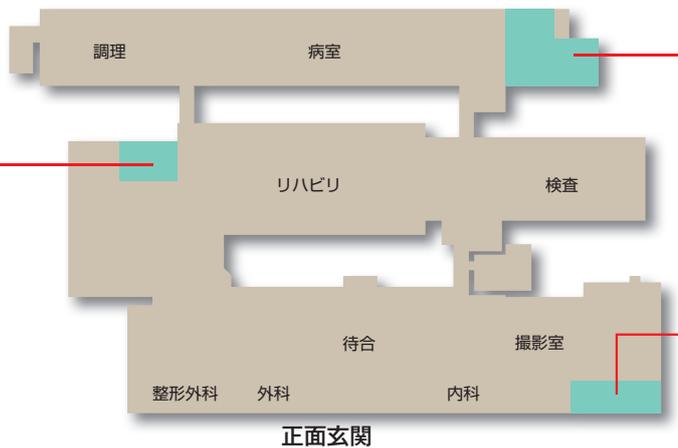
●内科外来

外来診療棟2階（現地域連携室）に増設します

●産婦人科外来

外来診療棟2階（現検診センター）に移設します

●1階平面図



●64列CT室

塩嶺病院から64列マルチスライスCTを移設します

●健診センター

現人工透析室に移設。両病院での健康診断を一括して実施します（6月初旬の運用開始予定）

●内視鏡室
X線テレビ室

現産婦人科外来に増設します

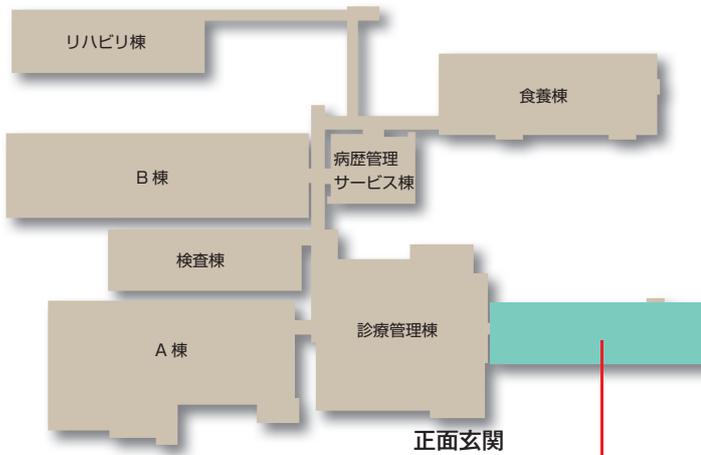
主な診療体制の変更点

- ◎塩嶺病院は、療養病床と緩和ケア病床の入院に特化した病院となり、4月から外来診療はありません。外来診療は、岡谷病院で引き続き受診していただけます。
- ◎岡谷病院に基本的な機能を集約し、新たに追加となる4つの診療科のほか、循環器内科も医師を拡充し、4月からの診療体制を整えます。
- ◎人工透析は、今までの両病院分の受け入れが可能な30床を設置します。
- ◎健診センターは6月初旬から運用できるように岡谷病院に移設し、健康診断の業務を行います。
- ◎検査機能の集約化に伴い、産婦人科外来は2階に移設となります。

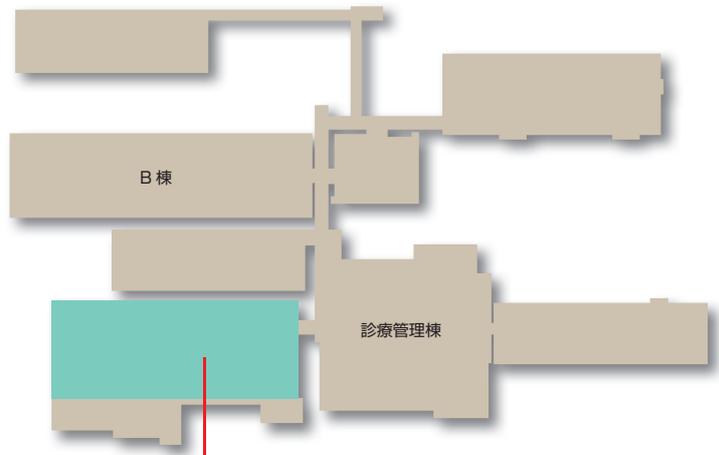
整備工事に伴い、ご迷惑をお掛けしますが、みなさんのご理解とご協力をお願いします。

健康保険岡谷塩嶺病院

●1階平面図



●2階平面図



※4月以降は塩嶺病院では「外来診療」「薬の院内処方」を行いません。外来診療は岡谷病院で引き続き受診していただけます。

緩和ケア病床

既存施設を利用

療養病床の整備

A病棟2階を改修し、「療養病床」を移設します

「岡谷市新病院建設 基本構想策定検討委員会」 委員募集!

わたしたちの生命、健康を守る市民病院のあるべき姿について、市民のみなさんから意見や提言をいただき、新病院建設に向けての骨格である構想案の策定を進めます。一緒に語り合い、知恵を出し合ってお協力くださるみなさんのご応募をお待ちしています。

- 募集人員…3名(委員総数は20名程度を予定)
- 応募資格…応募日現在、岡谷市で、ほかの審議会委員などになっていない人(市の特別職や常勤の職員、市会議員を除く)
- 任期…2月下旬からおおむね10月末まで
- 応募方法…市企画課、各支所、イルプラザ3階、または市ホームページにある申込書に必要事項を記入し、小論文(800字程度。お気軽にお書きください)を添えて直接企画課へ。郵送、FAXなどでも受付ます。
- 応募期限…2月15日(月)必着

安心を最優先に、機能の充実を図ります

両病院の施設集約にあたっては、これまで治療を受けてきたみなさんが、これからも引き続き安心して利用できる医療体制を整えることを最優先に考えました。

これまでの診療の質は維持しながら、岡谷病院に機能を集約し、収まりきらない一部の機能は塩嶺病院の既存施設を活用して、4月からのスタートをめざして準備を進めていきます。

市民のみなさんには、受診する環境の変化など、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、患者さんへの対応など、万全を期してのぞみます。

**より良い医療の提供をめざす
統合新病院の実現に向けて**

今回の集約では、市立病院に必要な機能を維持するために、両病院に分散して機能を確保しています。

さらに、より良い医療の提供をめざして、市では病院統合の最終段階となる、統合新病院建設の実現に向け、骨格となる基本的な考え方などをまとめる「新病院建設基本構想」の策定を進めていきます。

このまちに市民病院を残すため、また、より良い医療の提供と市民のみなさんの期待と信頼に応えられる市民病院を作り上げていくために、これからも精一杯努力します。みなさんの、ご理解とご協力をお願いいたします。

病院の診療や施設に関する問合せ●岡谷市病院事業 経営企画課(☎23-8000)

病院統合、新病院建設に関する問合せ●市企画課 病院統合担当「新病院建設準備室」(内線1524) FAX24-0689